

学生に発達障害について、わかりやすく講義する

講師: 子ども発達支援センター 野澤宏之(臨床発達心理士)

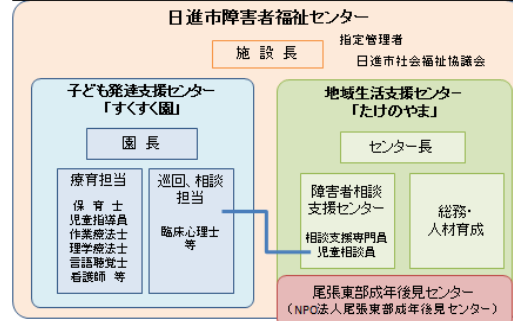
発達障害の特性理解と対応

～すくすく園での指導を中心に～



日進市子ども発達支援センター
児童発達支援管理責任者
臨床発達心理士
野澤 宏之

日進市障害者福祉センターの組織



発達障害とは

・発達障害とは・・・?

生物学的要因によって「乳児期から幼児期にかけて生じる様々な発達の違い」で、しばしば精神・知的な障害や身体的な障害を伴うもの

・基本的には「先天的(生まれつき)」な障害であり、
養育や環境で発症する類のものではない
⇒後天的になることはない点に注意!

☆「…つまり、育て方によって発達障害になることはないということ」
☆「育て方によって特性が聴くことはある」

発達障害とは

・発達障害は、「生涯にわたって続くもの」

⇒・大人になっても治らない

・症状は適切な訓練等で良くなる

改善は幼児期から始めるのが大事!

・気づかずに大人になって社会に出ている人も多い

⇒・本人も大変さに気づいていたり、いなかったり…

・職場の周りの人の関わり方でかなり違う
・通常では出来ないような仕事をする人も

基本的には、社会で生きにくいタイプ

講義を終え、下記のお題でレポートを提出してもらおう。

◎レポートお題

今日の講義部分で、“大人になるとどんな感じ?”として例に挙げた内容に関して1つ選び、「自分がその状況に出会ったとしたら、どのように相手に援助するか」を考えて記述してください。

⇒ 学生のレポート内容について

まわりが理解してあげることや繰り返し教えてあげることが大事であるとレポートに書いている学生が何人かいた。

講義前は『発達障害』という言葉は聞いたことはあるが、詳しくはわからないという学生がほとんどであった。